

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

大阪市教育委員会事務局の職員向け人権研修
に招かれました

理事長 小泉 いと子

8月30日(木)と31日(金)に大阪市教育委員会事務局の職員人権研修に招かれ、啓発グループの「ぼっかぼか」の皆さんと一緒に講演をしてきました。

今回の人権研修は、2日間で同じ内容の講演と体験を3コマ実施するといったもので、受講された方は約400人になりました。

前半の1時間は、私から「障がいのある子どもの親の想い」という事で、母親の視点で子どもが産まれた時から現在に至るまで、その時どきにあったエピソードを当時の写真を交えて話しました。その後、父親の視点ということで、子育て中に感じたことを夫にも当時のことを思い出して原稿を作ってもらい、村江常務に代読をしていただきました。子育てしていた当時、父親も母親もジレンマを抱えながら、伝えあうことができなかつたそれぞれの思いについて、改めて確認し貴重な機会を頂くことができました。



今回の受講対象者の年齢層が20代から50代と幅広かつたので、捉え方も年齢層や自身の状況によって異なつていたかと思つています。単身の方にとっては、自分の親がどのように思つて子育てをしていたかという視点で聞かれていたかもしれません。一方、子育て

での最中の方にとっては、自身の体験と重ね合わされたかもしれません。また、年配の方にとっては自身の子育てを懐かしく思い出されていたかもしれません。受講された方それぞれに家庭環境が異なり、感じ方については一律では無いかと思つています。ただ、障がいのある子どもがいる親は、世間でいう「普通」という壁に何度となくぶつかり、乗り越えてきました。障がいのある子の親の先達として、親御さんの困りごとに寄り添つて一緒に解決に向けて支えて頂けたらと思つています。

後半の1時間は、「ぼっかぼか」さんによる障がいのある人の疑似体験を行いました。

研修会の前半は親の想いということであつたまつた雰囲気でしたが、後半の疑似体験は幼児から大人まで幅広く対応できる、動きまわつて、考えて、最後には笑いありのプログラムでした。特に今回の研修会では体験プログラムを多く準備していましたが、会場が大きかつたので、受講者の皆さん全てに体験してもらつることができなかつた事は残念でした。



また、3回目の研修の時には、投影するはずのパワーポイントのデータがパソコンから無くなつていたというアクシデントもありましたが、「ぼっかぼか」の皆さんの臨機応変な対応で、受講された皆さんに気づかれることなく(と思つ込んでいます)進めること